Japanese Patent Publication No. H7-266625, 17 October 1995

Applicant: Sony Corp.

Inventor: Mikami, Shinachiro

Title: Printer

Purpose: To apply printing to paper or a medium having a size other than a regular size in addition to regular size paper by providing a head driving system capable of moving a printing to an arbitrary position on an object to be printed in a printer main body and making the holding part used in the holding of the object to be printed freely detachable with respect to the printer main body.

Constitution: A printer is equipped with a printer main body 11 having head driver systems 13, 15 capable of moving a printing head 4 capable of moving on an object 2 to be printed and the holding part 12 freely detachable with respect to the printer main body and holding the object 2 to be printed when attached to the printer main body 11 to perform printing to oppose the same to the scanning surface of the printing head 11. The head driving systems 13, 15 are composed of first and second driving means driving the printing head 4 in two directions crossing each other at a right angle and the printing head 4 is set at the arbitrary position on t e object 2 to be printed by the first and second driving means. Further, when the holding part 12 is detached from the printer main body 11 to perform printing, the printer main body 2 sets the position of the object 2 to be printed through a slip preventing means 18.

10 プリント装置

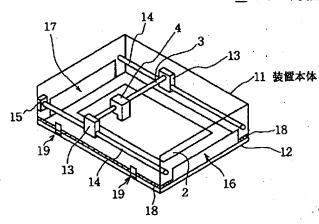


図1 実施例におけるプリント装置の全体構成

[Translation done.]

[JP,07-266625,A]

CLAIMS DETAILED DESCRIPTION TECHNICAL FIELD PRIOR ART EFFECT OF THE INVENTION TECHNICAL PROBLEM MEANS OPERATION EXAMPLE DESCRIPTION OF DRAWINGS

[Translation done.]

### \* NOTICES: \*

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

- 1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
- 2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

### CLAIMS

[Claim(s)]

[Claim 1] Print equipment characterized by having the attaching part which can detach and attach freely to the main part of equipment which has the head drive system which can move a print head to the arbitrary positions of the top for printing, and the above-mentioned main part of equipment, holds the above-mentioned candidate for printing in attaching and printing on the above-mentioned main part of equipment, and is made to meet to the scan layer of the above-mentioned print head.
[Claim 2] The above-mentioned head drive system is print equipment according to claim 1 characterized by becoming by the 1st and 2nd driving means which drive the above-mentioned print head to the 2-way which intersects perpendicularly, and therefore positioning the above-mentioned print head in the arbitrary positions of the top for [ above-mentioned ] printing at the 1st and 2nd driving means concerned.

[Claim 3] It is print equipment according to claim 1 or 2 characterized by the above-mentioned main part of equipment positioning the above-mentioned candidate for printing through a skid means when removing and printing the above-mentioned attaching part from the main part of equipment concerned.

[Claim 4] The above-mentioned skid means is print equipment according to claim 3 characterized by having fixed to the above-mentioned main part of equipment.

[Claim 5] It is print equipment according to claim 4 characterized by the ability to detach and attach the above-mentioned skid means freely to the above-mentioned main part of equipment.

[Translation done.]

(19)日本国特許庁 (JP)

### (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開番号

### 特開平7-266625

(43)公開日 平成7年(1995)10月17日

(51) Int.CL.	鉄別配号	庁内整理番号	PΙ		技術表示箇所
B41J 3/28 13/10					•
B 4 3 L 13/00	С				

### 審査請求 未請求 請求項の数5 FD (全 5 頁)

(21)出蘇番号	特顧平6-87876	(71)出顧人	000002185 ソニー株式会社 東京都品川区北品川6丁目7番35号 三上 慎一郎 東京都品川区北品川6丁目7番35号シニー 株式会社内		
(22)出蒙日	平成6年(1994)3月31日	(20) 7077145			
		(72)党明者			
		(74)代理人	弁理士 田辺 取基		
	•		•		

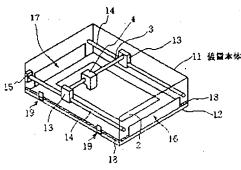
#### (54) 【発明の名称】 プリント装置

### (57)【要約】

【目的】本発明はプリント装置において、定型サイズの 用紙に加えて定型サイズ外の紙や媒体にも印字できるよ うにする。

【構成】プリント装置を装置本体とこれに若脱自在に取 り付けられる保持部との2つの部材によつて構成する。 このうち装置本体側に主走査方向のみならず、副走査方 向にもヘッドを駆動できるヘッド駆動系を設け、印字対 象を移動させなくても印字できるようにする。これによ りプリント装置の内部を印字対象を通過させる必要がな くなる。この結果、従来の場合には印字できなかつた定 型サイズ外の紙等に印字したい場合には、保持部を装置 本体から取りはずしてED字すれば良い。

# 10 プリント装置



図上 実施例におけるプリント装置の全体構成

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】印字ヘツドを印字対象上の任意の位置に移 動させることができるヘツド駆動系を有する装置本体 と

上記装置本体に対して若脱自在であり、上記装置本体に取り付けて印字する場合には、上記印字対象を保持して 上記印字ヘッドの走査面に対して対面させる保持部とを 具えることを特徴とするブリント装置。

【請求項2】上記ヘット駆動系は、上記印字ヘットを直交する2方向に駆動する第1及び第2の駆動手段でなり、当該第1及び第2の駆動手段によって上記印字対象上の任意の位置に上記印字ヘットを位置決めすることを特徴とする請求項1に記載のプリント装置。

【請求項3】上記保持部を当該装置本体から取り外して 印字するとき。上記装置本体は滑り止め手段を介して上 記印字対象を位置決めすることを特徴とする請求項1又 は請求項2に記載のプリント装置。

【請求項4】上記滑り止め手段は上記装置本体に対して 固着されていることを特徴とする請求項3に記載のプリント装置。

【請求項5】上記滑り止め手段は上記装置本体に対して 若脱自在であることを特徴とする請求項4 に記載のブリント装置。

### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明はブリント装置に関し、例えばインクジェット式のブリント装置に適用して好適なものである。

[0002]

【従来の技術】従来、プリント装置の印字機構としては 30 図5 に示すものが多くのプリント装置 1 に採用されている。すなわち印字対象である用紙2を搬送機構(図示せず)によつて矢印A(以下、副走査方向という)の方向に搬送する一方で、この搬送方向と直交する方向(図中、天印B(以下、主走査方向という)で示す)に架け渡された軸3 に沿つてヘッド4 を走査させることにより用紙2の全面に文字等を印字するようになされている。 【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところがこの機構のプリント装置1の場合、印字対象(用紙2等)の移動自体 40が印字工程の一部に組み込まれているため、印字対象の材質」厚さ、寸法等に制限があつた。例えば通常のプリント装置ではA4サイズやB5サイズ等のように定型サイズの用紙に対してしか文字等を印字することができなかつた。また定型サイズの用紙であつても搬送機構によって搬送されなければならないため厚さや材質に制限があつた。

【0004】本発明は以上の点を考慮してなされたもので、定型紙以外の大きさや厚み等を有する用紙にも文字等を印字することができるブリント装置を提案しようと

するものである。 【0005】

【課題を解決するための手段】かかる課題を解決するため本発明においては、印字ヘッドを印字対象(2)上の任意の位置に移動させることができるヘッド駆動系(3)(A)を有する装置本体(11)と、装置本体(11)に対して若脱自在であり、装置本体(11)に取り付けて印字する場合には、印字対象(2)を保持して印字ヘッド(4)の走査面に対して対面させる保持部(12)10とによつてフリント装置を構成する。

[0006]

【作用】定型サイズの用紙に印字する場合には、保持部(12)を装置本体(11)に取り付けた状態で使用し、保持部(12)によつて保持されている定型サイズの用紙に印字する。これに対して定型サイズに比して厚みのある紙(32)や定型サイズ以外の大きさの紙(31)また紙以外であるが平面状に配置できる印字対象(33)に印字する場合には、保持部(12)を装置本体(11)から取り外し、装置本体(11)を単独で印20字対象(33)と対面させて印字する。これにより定型サイズ外の用紙等にも印字できる。

[0007]

【実施例】以下図面について、本発明の一実施例を詳述 する。

【00008】図5との対応部分に同一符号を付して示す図1において、10は全体としてブリント装置を示し、ヘッド4を主走査方向及び副走査方向に駆動することにより静止された状態の用紙2上に文字等を印字することができるようになされている。このブリント装置10は主に2つの装置部分によつて構成されている。1つはヘッド駆動機構等を含む装置本体11であり、残る1つは装置本体11に対して若脱自在に取り付けられる用紙固定部村12である。これら装置本体11及び用紙固定部12は次のように構成されている。

【0009】まず装置本体11はフリント用のヘッド4を内蔵している。ヘッド4は主走査方向に沿つて走査し得るよう輪3に取り付けられており、軸3の両端に設けられたヘッド位置決め機構13によつて軸3上の位置を位置決めできるようになされている。また一対のヘッド位置決め機構13は装置本体11の内側にあつて副走査方向と平行に伸びる2本の軸14に対して可動自在に取り付けられている。このヘッド位置決め機構13の軸14上における位置はヘッド位置決め機構15によつて制御されるようになされている。

【0010】ヘッド4はこれら2つのヘッド位置決め機構13及び15によって主走査方向及び副走査方向に沿って駆動される。また装置本体11の側壁部分のうち副走査方向に対面する側壁部分には揺紙口16と排紙口17とが設けられている。これら給紙口16及び排紙口17は定型サイズの用紙2に印字する場合に用いられるも

のである。因に装置本体11のうち用紙固定部12と対面する端面部分には滑り止め18が取り付けられている。この滑り止め18は装置本体11から用紙固定部12を取り外し、定型サイズ外の用紙等に印字する際に用紙等が装置本体11に対して位置ずれしないようにするためのものである。

【0011】他方、用紙固定部12は受け回状の部材でなる。この用紙固定部12は定型サイズの用紙2を印字するときに用いるものである。従つて文字等を定型サイズの用紙2に印字する場合には、用紙固定部12は取付金具19(19A及び19B)によつて装置本体11と一体に固定されるようになされている。このとき取付金具19A及び19Bは、図2に示すように、装置本体11及び用紙固定部12のそれぞれに設けられている。またこの取付金具19A及び19Bによる係止状態は自在に解除できるようになされている。このように用紙固定部12は装置本体11に対して若脱自在に取り付けられている。

【0012】次に装置本体11内の各部を制御する制御部25の構成を図3に示す。中央処理装置26(CPU)はメモリ27からブリント内容を適直読み出し、印字情報及び開連情報をヘッド出力コントロール部28及びヘッド位置コントロール部29にそれぞれ与えるようになされている。このうちヘッド出力コントロール部28は与えられた印字情報に基づいてヘッド4を制御する。またヘッド位置コントロール部29は与えられた関連情報に基づいてヘッド位置制御機構30年、主走査方向にヘッド4を駆動するヘッド位置を決め機構15を含む)を制御する演算手段である。因にヘッド4及びヘッド位置制御機構30年にある。因にヘッド4及びヘッド位置制御機構30年にある。

【0013】以上の構成において、文字等を印字する際における動作状態及び使い方を説明する。まず装置本体11内に設けられたメモリ27に音類(文書、画像等)及びその音類に関する情報を入力手段(図示せず)を介して入力して蓄積する。CPU26は書類に関する印字データをヘッド出力コントロール部28へ送り、また音類に関する情報をヘッド位置コントロール部29へ送る。

【0014】ヘツド出力コントロール部28は、受け取った印字データを順次プリント機構部30内に設けられているヘッド4に送る。このときヘッド位置コントロール部29は受け取つた情報に基づいて書類の大きさ等を演算し、ヘッド位置制御機備30A(すなわら主走査方向のヘッド位置決め機構13及び副走査方向のヘッド位置決め機構15)を制御する。この制御によつてヘッド4は主走査方向及び副走査方向に走査され、ヘッド4による印字が開始される。

【0015】ここで定型サイズの用紙2に印字する場合 50 部12とを若脱自在に固定する場合について述べたが

には、装置本体11と用紙固定部12とが一体に固定された状態で使用される。すなわち装置本体11と用紙固定部12との隙間に給紙口16から用紙2を拾紙し、用紙固定部12上の所定位置に固定された用紙2の表面に沿つてヘッド4を走査させることにより印字する。

【0016】これに対して 定型サイズ以外の用紙等に 印字する場合には、装置本体11から用紙固定部12を 取り外し、平坦な面上に載置されている印字対象上に装 置本体11を対面させることによつて印字する。これら 00例を図3に示す。図3(A)は、輪紙口16に入れる ことのできない大きさの記録紙31に印字する場合の例 である。このとき装置本体11は滑り止め18によつて 記録紙31の上で装置本体の位置がずれないようにされ ている。これにより給紙口16の微幅(主走査方向の 幅)よりも広い記録紙31であつても印字することが可 能となる。

【0017】続いて図3(B)は、極端に厚い記録紙32に印字する場合の例である。このときも面積の広い記録紙31の場合と同様、通常の搬送機構では送ることのできない厚みのある記録紙32への印字が可能となる。また図3(C)は、紙以外の材質のもの(図の場合は布製のシャツ33)に印字する場合の例である。この布製のシャツ33のように通常の搬送機構では搬送できないものについても装置本体11を用いれば印字することができる。

【0018】以上の構成によれば、装置本体11に対して印字対象を支える用紙固定部12を若脱できるようにし、ヘッド4を主走査方向のみならず、副走査方向にも平面的に走査できるようにしたことにより、用紙等を移動させる必要がなくなつた。これによりプリント装置10の内部を用紙等を通過させる必要がなくなり、従来の場合には印字することができなかつたA4サイスやB5サイス等の定型サイズ以外の紙等にも印字することができるようになつた。

【0019】例えば定型紙だけでなく、厚紙や大きな紙、また紙以外に布等にも印字することができる。さらに装置本体11のうら用紙固定部12と面する部分に滑り止め12を設けたことにより、用紙固定部12を取り外して装置本体11単独で文字等の印字をする場合にも40 印字の際に装置本体11が位置ずれしないようにすることができる。

【0020】なお上述の実施例においては、ヘツド位置 制御機構30B(ヘツド位置決め装置13及び15)を 図1に示すように構成する場合について述べたが、本発 明はこれに限らず、ヘツド4を主走変方向及び副走査方 向に駆動できれば他の機構のものについても適用し得 る。

【0021】また上述の実施例においては、2つの取付 全具19A及び19Bによつて装置本体11と用紙固定

本発明はこれに限らず、他の部材を用いて装置本体11 と用紙固定部12とを若脱自在に固定できるようにして

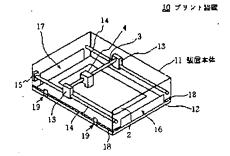
【りり22】さらに上述の実施例においては、滑り止め 18を装置本体11のうち用紙固定部12と対向する端 面に沿つて配置する場合について述べたが、本発明はこ れに限らず、滑り止め18は他の位置に取付られていて も良い。またこの滑り止め18は複数の部材で形成され ていても良く、また装置本体11に対して取り外し自在 であつても良い。

【0023】また上述の実施例においては、インクジェ ツト式のプリント装置について述べたが、本発明はこれ に限らず、印字方式としてはインパクトプリンタや熱転 写方式等、他の方式を用いるブリント装置にも適用し得

【りり24】さらに上述の実施例においては、ヘツド4 を主走査方向及び副走査方向に駆動できるようにする場 台について述べたが、本発明はこれに限らず、主走査方 向又は副走査方向に一列に並べられたヘッドをヘッドの にも適用し得る。

【りり25】さらに上述の実施例においては、図4にお いて定型サイズより大きな面積の媒体に印字する場合に ついて述べたが、本発明は定型サイズより面積の小さい 媒体についても印字することができる。

【図1】



闰 1 実施例におけるプリント發電の全体構成

\* [0026]

【発明の効果】上述のように本発明によれば、印字ヘッ ドを印字対象上の任意の位置に移動することができるへ ツト駆動系を装置本体内に設けると共に、装置本体に対 して印字対象の保持に用いる保持部を着脱自在としたこ とにより、定型サイズ以外のED字対象にもED字すること ができる。

### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるプリント装置の機構部分の説明に 10 供する略根的斜視図である。

【図2】取付金具による取付状態を示す略線的斜視図で ある.

【図3】信号処理部の説明に供するブロック図である。

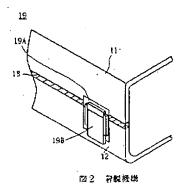
【図4】使用方法の説明に供する略線図である。

【図5】従来用いられているプリント装置を示す略線的 料視図である。

【符号の説明】

1. 10……ブリント装置。2……用紙、3、14…… 韓. 4……ヘッド、11……装置本体、12……用紙固 並び方向と直交する方向に走査する機構のプリント装置 20 定部 13、15……ヘッド位置決め機構、16……給 紙口、17……排紙口、18……滑り止め、19……取 付金具、25……制御部、26……CPU、27……メ、 モリ、28……ヘッド出力コントロール部、29……ヘ ツド位置コントロール部、30……プリント機構部、3 OA……ヘッド位置制御機構。

[図2]



BEST AVAILABLE COPY

(5) 特開平7-266625

